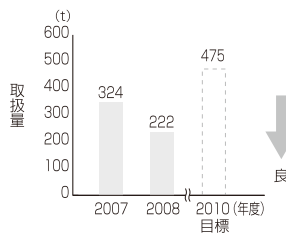


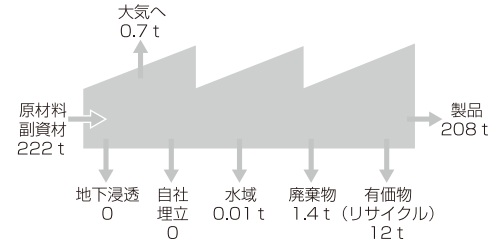
環境負荷物質低減

環境負荷物質の使用を管理し、非含有原材料・副資材への切り替えを推進してきました。2008年度は環境負荷物質を含まない製品の水平展開が徹底され、目標を達成しています。今後も環境負荷物質低減を図るとともに、各環境規制にも柔軟に対応してまいります。欧州REACH規則については、早期の取り組みと組織強化により柔軟な対応に努めています。

PRTR法対象物質 取引量(届出ベース)



PRTR法対象物質の排出・移動量



取り組み事例

鉛フリー化の推進

鉛を含まない製品の水平展開事例として、本年も新しい製品をラインナップしました。⇒P.12 開発・設計にて

各工場の活動

ムダのない生産活動は環境にやさしいという「儲かる環境活動」を各工場ですべて徹底しています。製品に含有または使用する環境負荷物質は、各工場の活動によって低減の努力がされています。

⇒P.13~15 工場の取り組みにて

2008年度の活動結果と2009年度の目標

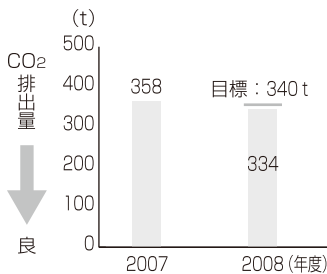
項目	実施内容 (〇・・・成果大)	2009年度目標	重点実施項目
1. 鉛使用量の低減	〇鉛フリー化の推進 ・製品・設備のシンプル・スリム化 ・歩留り向上、不良低減活動	PRTR法対象物質使用量 0.5 t/年の削減	委員会活動の推進 ・環境負荷物質委員会での鉛フリー化の推進 ・各工場の化学物質の適正管理法規制対応 ・欧州REACH規則への対応 ・改正PRTR法への対応
2. PRTR法対象副資材の低減	〇各工場の小委員会活動		

※欧州REACH規則 (Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals)
PRTR法 (Pollutant Release and Transfer Register: 化学物質排出移動量届出制度)

物流の合理化

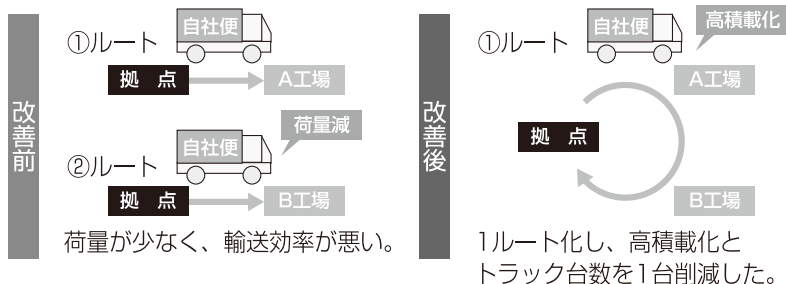
2008年度の大幅な荷量(生産量)の変動に対して、客先、生産部の生産体制に合わせ細かく情報を取り、輸送効率の低下を防ぐため現地現物で調査するなどして、対応することができました。仕入先やお客様との協力、各輸送業者と連携し常にチャレンジの姿勢をもって活動することで結果を残せたため、今後も継続してまいります。

輸送工程のCO2排出量



取り組み事例

輸送トラックの台数削減 CO2排出量 11%の削減



2008年度の活動結果と2009年度の目標

項目	実施内容 (〇・・・成果大)	2009年度目標	重点実施項目
1. 輸送工程のCO2低減	〇客先、各工場の生産体制に応じた便設定(削減) ・混載化によるルート統合	目標: 320 t (前年度比5%減)	・輸送ルート、便数削減、積載率向上の継続的改善
2. 廃棄物低減	・生産量に応じた梱包副資材使用量の低減 ・パレットの材質転換継続(樹脂製へ変更)	目標: 980 t (前年度比10%減)	・不要空箱の再利用の継続 ・梱包資材の使用量低減活動継続